

「街に花壇を広げるプロジェクト～冬の花壇計画」

花壇のデザイン、土づくり、植え付け、日常の維持管理のコツなど一連の流れを通して花壇作成のノウハウを学び、地元での活動にいかし、街の花壇が充実していくことを目指しています。



11/7 花壇デザイン

11/13 植付け



「指導者養成プロジェクト～園芸教室～」

7月の公民館講座「観葉植物の寄せ植えづくり」を3か所で行いました。
室内で観賞できるスパティフィラム・ホヤ・アスプレニウム アンティーカムを使った
寄せ植えづくりのサポートを行い、講師活動へ向けての経験を積んでいきます。



～ 参加者の感想 ～

- ・ 素敵な寄せ植えが出来上がり、お家の中で育てるのが楽しみです。
来年は2倍の大きさに育っているかなあ
- ・ いつもいい加減に植えて、枯れさせていたので、植え方を教えていただけで良かった。
- ・ 植え方、土の話、管理の仕方等、楽しく丁寧に教えていただきました。

「春期育苗プログラム」

種まき・鉢上げ・挿し木を行い栽培技術の向上と、自分で作った苗を育む経験を積みます。育てた苗は、緑化ボランティアグループへ配布し、岡山市内の花壇を彩ります。



5/9 種まき講習

「タネから育てる草花」の講義のあと、実際にマリーゴールド・サルビアの種まき自習を行いました。



5/14・15・16 鉢上げ

育苗に適した土づくりを実習し、ジニア・ダリア・コリウス・ナスタチウム・ダンギク等、約5,000ポットの花苗を鉢上げしました。



6/19 仕分け

午前中に51組の緑化ボランティアグループ用の花苗を仕分けし、午後からは公園内の挿し木で増やせる植物の枝を探し、挿し木の講習を行いました。



6/19 挿し木講習

「指導者養成プロジェクト～園芸教室～」

5月の公民館講座「タネから育てる草花」を4か所で行いました。
ダリアの種まきやニチニチソウの鉢上げを実習しながら、花苗から自分で育てるための講習のサポートをしながら、講師活動へ向けての経験を積んでいきます。



～ 参加者の感想 ～

- ・一粒の種、1本の苗もこんなに大切に植えることを学んで、とても勉強になりました。
- ・今まで自分流に植付けをしていましたが、それぞれ解りやすく説明していただいてとても参考になり、益々頑張ってみようという気になりました。
- ・何から何まで、至れり尽くせりの講座でした。新たな知識を得て、ガーデニングが一層楽しくなりました

「指導者養成プロジェクト～園芸教室～」

4月の公民館講座「春の花で寄せ植えづくり」を3か所で行いました。
ミニバラ・アンゲロニア・フランネルフラワー等を使用した寄せ植えづくりで、参加者の
方へのサポートをしながら、講師活動へ向けての経験を積んでいきます。



～ 参加者の感想 ～

- ・バラの切り戻し方法など勉強になりました。綺麗な作品を作ることができました。
- ・水やりのコツ、肥料やりのコツを伺えてよかったです。
- ・丁寧にご指導いただきありがとうございました。
- ・目からウロコ！いろいろな勉強になりました。これからの楽しみがガーデニングになりそうです。

「ハンギングバスケット制作」 「プランター制作」



【日時】 令和7年2月21日（金）

【場所】 浦安西公園管理事務所 ハウス

【講師】 緑化推進課 猪 雅人

【参加者】 ハンギング制作 17名
プランター制作 4名



西川緑道公園で3月2日に開催される「花・緑ハーモニーフェスタin西川」の会場を装飾する花飾りとして、ハンギングバスケット、プランターを制作しました。

<使用した花苗>

- ・ルピナス
- ・スイセン
- ・レースラベンダー
- ・ジュリアン
- ・ビオラ
- ・サクラソウ
- ・イベリス
- ・シロタエギク
- ・カレックス



今回初めて参加するリーダーさんもいましたが、ベテランリーダーさんからアドバイスをもらいながら、早春のイベントを彩るステキな花飾りが完成しました。



当日 イベント会場

「植物園ガイド養成プロジェクト」

岡山市半田山植物園の「四季と自然を楽しむ会」（毎月第2木曜日）に参加し、課題やガイド資料を退出しながら、植物を紹介する園内ガイドを養成するプロジェクトです。



5月



6月



7月

2年間の継続履修完了後、インターンとしてのガイド活動を行います。

場所：岡山市半田山植物園

「里山保全プロジェクト」

かつて里山は人の手が入ることで林が更新し、生物の多様性も豊富でした。手入れの行き届かなくなった里山は鬱蒼として生物の多様性も低下しているとされ、市民参加による保全活動が求められています。



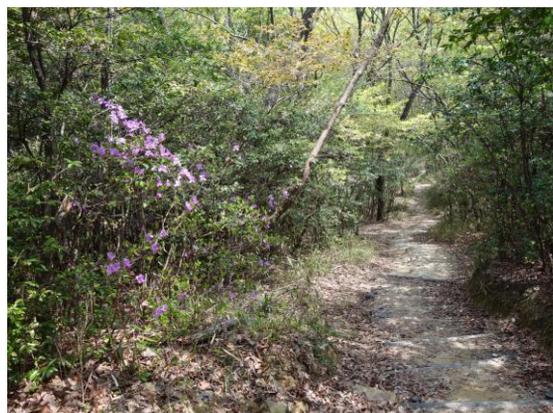
令和2年度から緑化推進リーダーがチームを作り操山の一エリアで里山の手入れを行っています。令和4年度は秋に里山の植生遷移と管理の必要性、また作業の際の安全対策について学んだあと、冬に林の手入れを行いました。令和5年度も同じエリアで保全活動を継続しました。

皆さん鋸を片手に熱心に活動し、木漏れ日が入る明るい林が増えました。

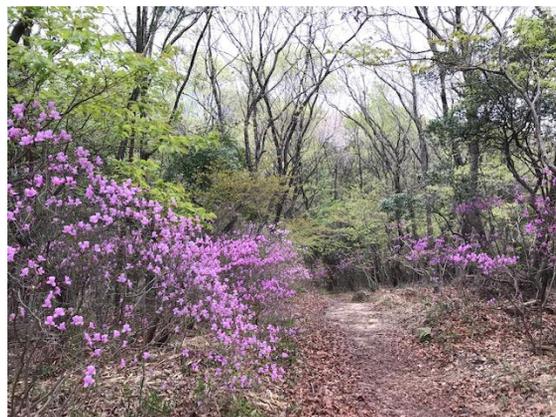
全国的に管理放棄された里山が増え、チョウやホタルなど身近な生きものの多くが減少傾向にあるとされる昨今、多様な生きものが生息しやすくなることを目指して活動しています。



活動中に通りかかった登山者の方々から感謝とねぎらいの言葉をかけていただき、活動のはげみになっています😊



(令和2年4月)



(令和5年4月)

林に陽光が入るようになり、シンボルとしているコバノミツバツツジの開花数が増えました。